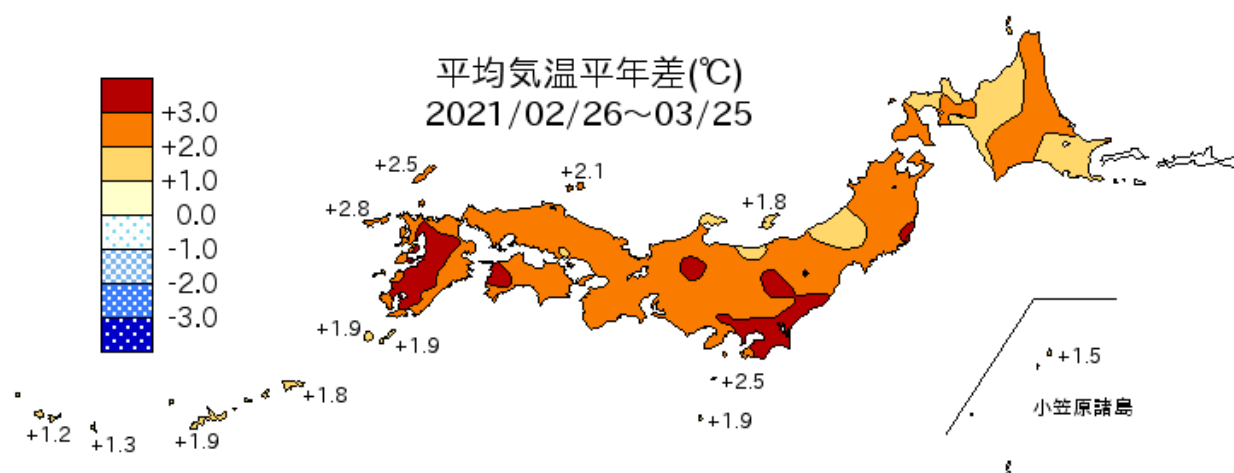


新型コロナに伴う「緊急事態宣言」は解かれたものの、収束へ向かうどころか感染力の強いと言われる変異種も広がってきつつあり感染者が各地で急速に拡大して来ているようです。期待のワクチンも何時順番が回ってくるのか、まだまだ気を抜くことはできませんね。こんな中でも春の足音は急速に近づいてきているというよりは、今や春爛漫といった状況です。草木の花の開花は勿論ですが、木々の芽吹きも始まり日ごとに明るさを増してゆくようです。

この陽気は全国的、気象庁からは毎日各地のサクラの開花や満開の情報が発表されてきていますが、多くの地域では観測史上、最も早い記録となっています。勿論この地域も例外でなく、皆さまの周りでも開花が進んで来ているのではないのでしょうか。ソメイヨシノに限らず、ヤマザクラを筆頭にオオシマザクラや陽光などの開花や満開のお便りを多く頂いています。これ等の情報を踏まえて「たより」をまとめたと思います。

1. この1月の全国の気温動向

気象庁が発表している、前4週間の全国の気温（平年差）の実績です。



この1ヶ月間ほどは、九州西部、関東地域では平年より3℃以上、その他の地域でも東北や北海道及び南西諸島を除いて2℃以上も高めに推移して来たことが分かります。

2. 近畿の向う3ヶ月間の天気情報

同じく気象庁からは、3月24日に無効3ヶ月（4月～6月）間の気温や降水量の予報が出されてきています。

＜予想される向こう3か月の天候＞

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおり。

向こう3か月の平均気温は、高い確率50%です。

4月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

5月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

6月 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

■気温経過の確率(%)

[確率]	低：並：高
4月	20：40：40
5月	20：40：40
6月	20：40：40

■降水量経過の確率(%)

[確率]	低：並：高
4月	40：30：30
5月	30：40：30
6月	20：40：40

・昨年は3月末から4月にかけて平年を2℃程度も下回る気温になりました。この影響で❀の開花～満開までの期間が長くなった地域も出ました。今年は4月以降も気温は高めに推移するようです。

3. 全国のサクラの開花状況

2018～本年まで、全国で開花の早かった地域ベストテンを下表にまとめた。

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	場所	開花日	場所	開花日	場所	開花日	場所	開花日
1	高知	3月15日	長崎	3月20日	東京	3月14日	広島	3月11日
2	宮崎	3月16日	横浜	3月21日	横浜	3月18日	福岡	3月12日
3	東京	3月17日	東京	3月21日	熊谷	3月18日	東京	3月14日
4	熊本	3月17日	福岡	3月21日	前橋	3月19日	長崎	3月14日
5	鹿児島	3月17日	広島	3月22日	宇都宮	3月21日	松江	3月14日
6	長崎	3月17日	松山	3月22日	水戸	3月21日	高知	3月15日
7	静岡	3月18日	宮崎	3月22日	岐阜	3月21日	松山	3月15日
8	横浜	3月19日	岐阜	3月22日	福岡	3月21日	高松	3月15日
9	名古屋	3月19日	名古屋	3月22日	京都	3月22日	京都	3月16日
10	松山	3月19日	高知	3月22日	和歌山	3月22日	宮崎	3月16日
	福岡	3月19日	佐賀	3月23日	名古屋	3月22日	岐阜	3月16日
	岐阜	3月19日			甲府	3月22日	下関	3月16日
CF	大阪	3月20日		3月27日		3月23日		3月19日

黄色の枠は九州地区の地域です。

2018年は12月～2月上旬まで寒く、2月中旬以降気温が高くなった年。

2019年はほぼ平年並みの冬、3月から気温が上がった年。

2020年は記録的と言われた暖冬の年。

2021年・今年は既報のように1月上旬まで寒く、以後暖冬に転じた年。

・2018年、19年までは東京・名古屋等の都市部を除き開花日は概ね九州・四国から北上の所謂「桜前線」にそったものでした。大きく狂ったのは昨年度。今年は開花日の早い遅いは別にして南から北への傾向が見られます。春先の気温もありますが、昨今は「休眠打破」の時期が開花に大きく影響して来てい

ることが伺えます。

・昨年度は20数地点で観察史上最速の開花日を記録しましたが、今年はそれ以上に最速が記録されるものと思われます。上記の13地点では平年比で松江の17日を筆頭に他地域も10～13日早い開花となっています。なお、平年に比べ、京都は10日、大阪は9日早く何れも観測史上最速となっています。皆さまの観察樹では如何でしょうか？

4. 附近のサクラ情報

4-1. エドヒガン

日本に自生する11種あるサクラ属の基本野生種の一つとされ、青森県から鹿児島県までの広い範囲の冷温帯と、韓国の済州島に分布する。山の急斜面にも生息が可能であり、明るい場所に先駆的に進出し、他の樹木の被圧により短期間で消えることを繰り返す他の野生種のサクラとは異なる生き方をしていると考えられている。

樹高は30mを超える高木で樹形は傘状。一重咲きの小輪の花を咲かせ花色は淡紅色。葉は楕円形で長辺が5-10cm。花柱基部、小花柄、葉柄などに毛が多く、がく筒が丸く膨らむつぼ形である。花期は名前の通り春の彼岸ごろの3月中旬でソメイヨシノより早い。この附近では、北摂の山で多く見られ、箕面公園でも大木が見られる。

万博公園では3月13日に開花、18日に満開となったとの情報を頂いています。



4-2. シダレザクラ（枝垂桜）

シダレザクラは広義では枝がやわらかく枝垂れるサクラの総称。野生のエドヒガンから生まれた栽培品種。狭義のシダレザクラやベニシダレやヤエベニシダレが有名である。

狭義のシダレザクラは樹高は8m以上に育つ高木、花は一重咲きの小輪で淡紅色、花期は3月中旬である。枝垂れる以外の特徴はエドヒガンと同じで個体により変異がある。既に平安時代には「しだり櫻」や「糸櫻」などが存在したことが当時の文献に記録されており、これは狭義のシダレザクラの祖先であったと推定される。また、今日まで純粋に野生のエドヒガンで枝垂れているものが発見されておらず突然変異が極めて珍しい物であったこ



と、日本各地にシダレザクラの古木が存在することから、シダレザクラが栽培化され増殖され全国に広まったと考えられている。

前頁の写真は、わが家の近くの屋敷に植えられた枝垂桜。ソメイヨシノの満開より早く3月25日に満開となりました。

4-3. ベニシダレ

上記のシダレザクラの内花色が紅色の品種を指します。昨年度に近くの芦屋市・六麓荘入口のベニシダレの群落について詳述致しました。(2020年サクラだより18) この附近には10mを超えるヤマザクラも10本近くもあり花を競っています。今年の開花は3月15日、満開は3月23日でしたが、これは開花の早い樹の記録、これから開花してくる樹もあります。



道の右がベニシダレ、左側は保存林のヤマザクラです。右の写真の奥にさらに2列の群落があります。とにかく見事のひとこと。



・ついでながら、右はベニシダレ側から見た満開のヤマザクラです。写真では不明確かも知れませんが、手前と奥の2本があります。なお、この附近のソメイヨシノは2、3分咲きでした。

(3月23日の画像です。)

4-4. 夙川舞桜

極めてローカルなお話して恐縮です。西宮市では、北山緑化植物園内にバイオ研究所が併設されており、ここで市オリジナルの花の創生と発掘が行われています。夙川舞桜は市内雲井町で平成11年に確認

さた、夙川周辺のサクラから自然交配によってできた西宮生まれのサクラです。平成 14 年より増殖に取り組まれ平成 17 年に市民のみなさまによる投票の結果、「夙川舞桜」と名付けられました。特徴としては花は半八重～八重咲きで、初めは淡紅色、のちに白色に変化すること。成長が早く、苗木を植えてから開花まで 2～3 年と期間が短いことだそうです。3 月 18 日開花、24 日に満開となりました。



4－5 オオシマザクラ

寄せられた開花・満開の情報

- ・堺市 開花 3 月 18 日 満開 3 月 24 日
- ・宝塚 開花 3 月 15 日 満開 3 月 22 日
- ・芦屋 開花 3 月 16 日 満開 3 月 22 日

昨年より 2 日早い

昨年より 6 日早い

昨年より 2 日早い

何れも昨年より 2, 3 日早いとのコメントです。

・なお、オオシマザクラは開花後、4～5 日たつと花の色が白色からピンク色に変わってきます。

花の成熟を媒介者に知らせる戦略でしょうか？
最もこんなお客は歓迎しないでしょうが・・・。



*皆さまのお近くの観察木「ソメイヨシノ」も満開あるいは満開近くとなっているのではないのでしょうか。3～4 分咲きから急に開花が進むように思います。

以上